

日根小だより



令和6年9月3日(火)
文責：校長 飯田 恵子
平和学習特別号①

戦後79年目の夏

私たちが築く平和とは！



8月6日(火)、今年は5年ぶりに平和集会を体育館で集合開催の形で行いました。みんな、真剣に聞いていました。集会での校長講話は以下のとおりです。

今から79年前の今日、8月6日、広島に原子爆弾が落とされ、一瞬にして約7万人の人が亡くなりました。その爆弾によってケガをしたりやけどをしたりして、広島ではその年のうちに約14万人の方が原爆で亡くなったといわれています。また、生き残った人でも、放射線・放射能による後遺症によって苦しみ、その後も死者は増え続けました。また、その3日後の8月9日には九州の長崎にまた原子爆弾が落とされて、一瞬にして約3万5千人の方が亡くなり、長崎ではその年のうちに約7万人の方が原爆で亡くなりました。原子爆弾を落とされたヒロシマとナガサキだけで20万人以上の方が亡くなりました。

そして、その年(1945年)の8月15日、約5年に及ぶ戦争が終わりました。この8月15日を、戦争が終わったということで「終戦記念日」といいます。その後、この日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として、様々な催しが行われるようになりました。

(中略)

戦争を知らないみなさんは、ゲームの世界で戦うことを知ります。ゲームの世界では、相手を倒すことに対して何の罪悪感もありません。ゲームオーバーになっても、次のゲームでは死んだ相手が復活しています。でも、実際はそうではありません。まして、心の傷は戦争が終わっても、リセットされません。

私たちがとりまく世界情勢は、とても心配です。私たちもいつ戦争に巻き込まれるかわからない状況です。戦争をしても、何も解決しません。みなさん、ひとりひとりができることを考えましょう。まずは、友だちとの争いごとをなくすことから始めてみてください。トラブルが起きた時に、どう解決することが良いのか、その解決するための方法を考えてください。

みなさんが大きくなる頃には、武器ではなく、よりよい生活のための道具があふれてほしいと思います。ここにいるみんなで、戦争のない社会をつくっていくように、今、自分の力でできることを考え、仲間とともに平和な世の中を維持できるようにと願っています。



平和集会で話を聞いた後、平和への願いを込めて【おりづる】の歌を歌いました。

7月に入って、子どもたちは絵本やDVDをもとに平和について学習しました。さらに、8月の登校日には、校長先生の話や人権部会の先生による絵本の朗読を聞きました。また、教室で今年の広島平和記念式典の映像を観ました。子どもたちは世界情勢や身の周りのことについて、さまざまな側面から考えることで、自分たちなら何ができるのかを考え、行動に移しています。学習のふりかえりとして、子どもたちの感想を紹介します。

1年生…「まちんと」のおはなしをきいて、おもったことやわかったこと

- せんそうはぜったいにしてはだめ。とてもかなしいきもちになった。せんそうをするといろんなものがなくなってしまう。
- ひとには、いのちはひとつしかないものだから、せんそうはしない。
- ひとがしんでかなしいから、せんそうがなかったらいい。
- げんしばくだんがこわいとおもった。せんそうがあかんとおもった。



2年生…へいわとはどんなこと、へいわのためにできること

- へいわだったら、いろんなことや自分がしたい自由なことができる。けんかやこまっていたら、たすけあいをする。自分が先になんかしたなら先にあやまる。
- へいわはみんながえがお。いのちは一人ひとつ。自分をたいせつにする。せんそうはぜったいにあぶない。みんながえがおになれるように、みんなのえがおをまもっていきたい。
- ちきゅうのみんなでへいわをつくる。ちがうくにの人をころさない。やりたいことができる。かぞくといっしょにいられる。大すきなペットとたのしくあそべる。自分がされたいいやなことを人にしない。
- みんなしあわせにすごせて、たべものにもこまらない。そして、いえがなくなるらないのがへいわだとおもいました。
- 自分のためとみんなのためにへいわにらせるように、うれしいこと、たすけあうこと、たのしいことをぜんぶしてへいわにらせるようにがんばらなくちゃ!!がんばるぞ!

2年生…「おこりじぞう」を見て、かんじたことや考えたこと

- こわかったけど、むかしはこんなことがあったんだなあと思いました。こわくてもヒロちゃんはがんばったんだなあと思いました。すごくこわくてかなしいおはなしでした。さいしょはよかったねと思ったけど、さいごらへんはかなしかったです。いまは人と人がたすけあっているので、ヒロちゃんが今生きていたら、ゆうかんな人になっていただろうなあと思いました。見ていてもヒロちゃんがかわいそうです。たぶんもっとおかあさんにあいたかっただろうなあと思いました。

3年生…平和とはどんなこと、平和のためにできること

- 毎日ごはんをたべられるのはあたりまえじゃないし、戦争でなくなった人たちの分まで長生きしないといけない。
- 戦争だけではなく、はんざいやいじめ、ぼうりよくと同じ。平和のためにすることは、いじめなどをへらして、もし、いじめがおこってもさいしょうげんにおさえられるようにできることがぼくの平和です。
- みんなが戦争していないからいいわけではなくて、ちょっとしたけんかが大きくなって戦争になるかもしれない。だからみんなでなかよくすることが平和だと思った。

3年生…「しんちゃんのさんりんしゃ」を見て、感じたこと

- さぶろう兄ちゃんが自分のいのちをすてて、てきをたおすのを考えたら、悲しくなっておねがいたくなる。きみちゃんとしんちゃんがせっかく三りん車にのれたのにげんばくが落とされてなくなっちゃうところがかなしい。げんばくが落とされてなかったら、しんちゃんときみちゃんは生きてたのに…と何回も思ってしまう。
- げんしばくだんでいっぱい人がしんでしまった。あそんでいたときにげんしばくだんでころされたときに、「げんしばくだんは使ってはいけない」とあらためて思った。
- もし、今なくなっていなくてもげんばくしょうになってしまうから、げんしばくだん1発だけでもいろんな人がなくなるから、とてもあぶない物だなと思った。楽しそうに家の近くの子とあそんでいたのに、わるいことはしていないのにまきこまれていてかなしかった。

3年生…ふりかえり

- 戦争は、人をなくし、国をほろぼす大きいけんかなので、なくして平和にした方がいい。なぜ戦争に行く人をよろこばなくちゃいけないのか、行った人がかわいそう。
- 戦争をしていたら、つみのない人が毎日いなくなってしまう。自分が生きていても他の人はもういなくなっているのかもしれない。大切な人がいなくなったら、だれだってかなしい思いをする。だから、戦争はしないでほしい。

子どもたちは折紙に平和へのメッセージを書いて、折り鶴をつくりました。
6年生が先生役になって、下級生に鶴の折り方を教えてくれました。

